

を行いながら定員適正化に努め、市税等の収納率の維持・向上に向けた取り組みを行うなど財源の確保に努めます。

このような取り組みを通じて、健全で持続可能な財政基盤の確立に努め、行政改革の取り組みにより生み出した財源については、市民サービスの向上に活用します。

◆本庁や支所でご覧いただけます

行政改革の平成23年度の実績、平成24年度の目標は、本庁市民コーナーと各支所でご覧いただけます。

また**市ホームページ**でもご覧いただけます。

<http://www.city.takayama.lg.jp/soumu/gyokaku.html>

問合せ先

総務課
☎35-3133



市民目線で政策提案や事業の検証を行う市民参加の仕組みづくり「政策検討市民委員会」を立ち上げました。



飛騨総合庁舎で週2回だった旅券（ハヤポート）発行業務を、市民サービスの向上を図るため、本庁で平日毎日の開設にしました。

■数値目標に対する実績

項目	H22年度当初	年度別実績		H23年度末	目標達成率	目標値
		H22年度	H23年度			
職員数	967人	△23人	△26人	918人(△49人)	29.3%	800人 (H27年度当初)
人件費削減額	—	△3千8百万円	△1億9千8百万円	△2億3千6百万円	23.6%	10億円 (H21～H26比較)
人件費削減効果額(※)	—	△1億9千万円	△7億9千2百万円	△9億8千2百万円	32.7%	30億円 (5年間の効果額)
地方債残高	933億円	△47億円	△51億円	835億円 (△98億円)	53.6%	750億円 (H26年度末)

※H22年度人件費削減額3千8百万円×5年とH23年度人件費削減額1億9千8百万円×4年の合計

消防団員を募集しています



消防団員は、非常勤特別職の地方公務員です。また消防団員は、それぞれがさまざまな職業や組織に属しているため、世代や組織を超えた人々のつながりを持てる人材の宝庫です。

各地で大災害が頻発する中で、消防団員は地域防災の要として必要とされています。大切な地域で活躍する心意気のある方（18歳～50歳）の入団をお待ちしています。

問合せ先 | 消防総務課 ☎34-3792



優勝した丹生川支団のみなさん

優勝は丹生川支団
第8回高山市消防操法大会

市消防操法大会が6月17日、朝日小学校グラウンド（朝日町万石）で行われ、小型ポンプ操法に9隊が出場し、丹

生川支団が優勝しました。優勝した丹生川支団は、8月5日に羽島市で開催される県大会に市代表として出場します。

結果 ● 優勝・丹生川支団

準優勝・一之宮支団
3位・清見支団

なお消防操法大会は、迅速で適切な消防技術の維持向上と団員の士気高揚を図ることを目的に、毎年開催されています。

問合せ先

消防総務課
☎34-3792